



鈴鹿組仏教婦人会念仏奉仕団  
来々 2018(平成 30)年度は  
10 月 11 日(木)～12 日(金)です。  
鈴鹿組仏教壮年会念仏奉仕団  
6 月 18(月)～19 日(火)です。

## 無量寿会報恩講法要

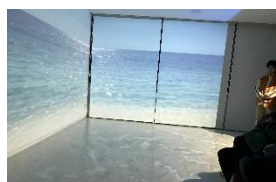


11 月 16 日(木)、無量寿会報恩講法要をおつとめ  
させていただきました。今年、若狭よりそば打ち  
名人の鳥羽正和師にお越しいただきました。朝から  
会員さんにそばを打ってくださり、役員さんもお手伝  
いにお世話になりました。お昼会員さんお参りにみえ、  
先生の打たれたおそばを堪能しました。午後から「正信偈」  
おつとめ、料理人から伝道人にとご法話を楽しくご聴聞  
させていただきました。過疎化の進む中自然の中でお念仏と  
ともにお同行との日暮。「私たちは自分の都合でものを見、  
とらわれ、俺が俺がと主張している。いつしか一人で  
大きくなったように思う、そうでなかったと気づかせて  
いただくのが仏法。電気も＋、－によって電気がつく。  
異質の協力、違うものと一緒「和をもって貴しとなす」、  
それぞれが違いを認めあっていくことが、心豊かに生きる  
ことです」うたも歌われ和気あいあいのひと時でした。



## 仏教壮年会一日研修

小春日和の 11 月 19 日(日)仏教壮年会は、亀鈴会の  
伊藤さんの運転で伊勢方面に施設訪問、懇親を兼ねて  
一日研修に出かけました。二見が浦の近くに新しく  
開設された福祉施設「潮音」、明るく、広い食堂、ジム  
ゆっくりとできるリビング、お風呂なども見学。  
食堂は、地域の方々への弁当サービスも兼ねている  
そうです。なかでも、スノーズレン音楽療法室という  
部屋では、精神的に障害をもった方が映像と音楽で  
気持ちを落ち着かせ、治療していくといった施設  
を紹介していただきました。現状維持にとどまらず  
前向きな理法だそうです。一路施設を後に相差まで  
海女の食事と温泉宿「浜榮」で、お風呂につかり  
海の幸に舌つつみ、身も心もゆったりの日でした。



「いせうどんの会」みんなあつまって!!とよびかけ、子どもたちが集まってきま  
した。おつとめをして、報恩講に向けての展示を手伝っていただきました。  
子どもたちも参加した行事の写真をイラストを作  
って貼っていきます。上手に仕上がりました。  
お待ちかね、伊勢うどんも出来上がりました。  
ご院さんの唐揚げの差し入れも、美味しくいただき  
ました。12 月 9 日の報恩講お初夜は、こどもも  
おとなも一緒に楽しみたいと思います。みなさん  
お参りくださいね。





## 懐かしい漬物の味



「こころいづくに」

秋すぎて こころいづくに

ゆくならむ

ゆきかふさはは 平安の世か

「米」

東北の あまき真水は

岩木山 遠野をすぎて

銘酒となりぬ

「むかしの栄華」

集めたる 古伊万里は

父の宝物

居場所なくして

母なげきをり



東京 小笠原孝枝さん

先日の午後の昼下がりにテレビ（どさんこワイド179）を観ていて、市内の漬物店が紹介されました。TVの画面から住所を知りビックリしました。私が以前に住んで居た場所から、そう離れてなく、懐かしさの余り見入っていました。紹介されたお漬物は色々有りましたがその中でも、私にはにしん漬けに気が付き、無性に食べたくなり、女房を同乗して、自宅から15キロ離れた漬物店にて、お目当てのにしん漬けを1袋（500g）を購入して帰宅しました。自分でも呆れるぐらいの衝動買いでしたが、夕飯時に一口食べたところ、酸味が効いた、懐かしい、あの頃の味に心が和みました。・・・父母の想い出が自然と心に漂い良い一日でした。私の記憶にある、我が家は、昭和20年中頃から30年頃まで、青果店を開いていました。裏には、沢山の太根、にしん、数の子を干して、父母が漬物を作っていました。食卓にはその漬物が沢山並んでいた事を思い出します。久しぶりに父母を偲ぶ心穏やかな時が過ぎました。

北海道 大島義勝さん



朝倉市

森田

瑛子

さん

今年もあとひと月、日を追って数え新しい年を迎える。いや、その前に今日一日を充実したい、大切にしていきたい、無常迅速なるいのち。くれぐれもお大事にて。なんまんだぶ

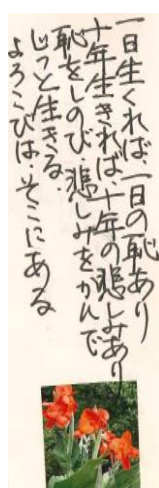


さん

正和

鳥羽

若狭町

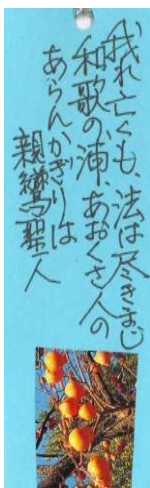


さん

光子

大島

札幌市



行く雲も 流るる水も 秋惜しむ  
秋遊くや 墓前で囲む マッチの火  
憂きことの 多きニユースや 枯葉掃く  
独り居の 余生ゆだねて 冬に入る  
実南天 一粒づつのお念佛  
茶の花や 今日もし息災 日の暮るる  
報恩講 寺のぜんざい 甘かりし  
落合登代子

